

START



氣仙沼市立病院

初期臨床研修医
募集案内



地域を救うチカラを養う

研修プログラムの強み

最新の医療機器を備え、地域医療に取り組む気仙沼市立病院の、研修先としての魅力を紹介します。



01 手技の経験値を蓄積できる

初期研修医から現場で検査や治療を行うことができ、手技を存分に身につけることができます。

02 あらゆる症例を学べる

1日平均20件ほどの救急患者を受け入れる当院では、軽度から重症まで様々な症例を診る機会があります。

03 新しい施設で研修できる

2017年に新築移転し、CTやMRなどを増設。整備された新しい環境で学ぶことができます。

04 全科共通の医局

共通の医局で各科との情報共有がしやすく、分からることはすぐ質問することができます。

05 科ごとの指導体制が充実

チームでの指導やマンツーマン指導など、科の特性に合わせたこまやかな指導が受けられます。

06 回復期リハビリテーション科新設

退院に向けて集中的なリハビリや環境調整を行う新科を開設。患者さんに寄り添う医療を目指せます。

基本ローテーション

初期研修は1年目で規定の科をローテーション。2年目からはそれが希望する科へ進むことができます。

(一例として)

1年目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	内科 (一般内科、循環器科、呼吸器科)						救急			将来専門とする 診療科を中心とした 関連診療科		
2年目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	選択必修			地域 医療	将来専門とする診療科を中心とした関連診療科							



臨床研修管理委員会委員長

星 達也

1992年 東北大学卒業
気仙沼市立病院副院長

MESSAGE

研修医の希望を尊重し

臨床現場の最前線で育てていく

当院では、研修の自主性を重んじ、自ら「やりたい」と申し出があった場合は、可能な限りその思いを尊重するようにしています。手技に関しても、地域医療を担う大切な戦力として現場で経験を積んでもらえるよう、指導医含めてサポート体制を整えています。見ているだけではなく実際に手を動かすわけですから、失敗も多く経験すると思うますが、初期研修を終えるころには技術がしっかりと身についているはずです。

先輩達の声

初期研修1年目

SENIOR'S VOICE 01



01

蔡 翱錦
SHIKI SAI

奈良県出身
2019年 京都大学卒業
精神科志望



自分のやる気しだいで
着実に成長していく

現在の主な業務はオペ前の準備と、手術中の麻酔管理。当直がない日は早く帰れる日もあり、勉強時間にあることも。

呼吸器内科や外科などのローテーションを経て、現在は麻酔科で研修中です。気仙沼市立病院を研修先として選んだ理由は、研修時から実践的な知識や技術を学べるからです。内視鏡など実際に数をこなしてコツをつかめる手技があるので、任せていただけることはとてもありがたいですね。意欲しだいでどんどん成長できるので、学ぶ環境としては理想的だと思います。

手技を磨ける実践的な環境が整っています

POINT 01

初期研修時に
学べるポイント



研修時から数多くの症例を経験

主に救急でさまざまな症例の治療にあたることができ、とても勉強になります。ヘルニアや胆嚢摘出といった手術は研修医でも経験させてもらいますが、指導医の先生がしっかりと見てくださり、サポート体制も万全です。

専攻医研修

SENIOR'S VOICE 02

02

清水 港太
KOUTA SHIMIZU

宮城県出身
2017年 千葉大学卒業
外科志望



外科医として必要な スキルを習得できる

研修3年目になりますが、すでに多くの手術を任せさせていただいています。当院では患者さんとの接点が多く、術前説明なども行うため、外科医として手技だけではないスキルの向上も望めます。また、指導医や先輩医師の方々とは近い距離感で相談ができるところもありがたいですね。



患者さんと接しながら現場で学べます

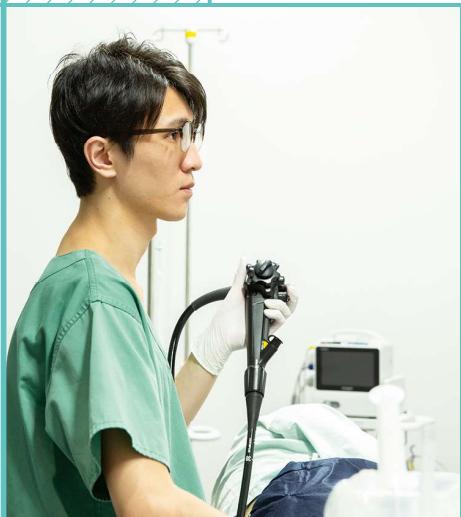
専攻医研修

SENIOR'S VOICE 03

03

岩城 英也
HIDEYA IWAKI

宮城県出身
2016年 東北大学卒業
消化器内科志望



病院完結型医療で 患者さんと向き合える

気仙沼市立病院の魅力は、実践経験を多く積めるところ。私は1年目に胃カメラの手技を磨き、3年目からは胃がんの治療なども任せていただきました。エリア唯一の総合病院なので重症の患者さんを診ることもあり、医師として確実に成長できる場所だと思います。



希望する分野で経験を重ねられます

POINT 02

専攻医研修時に
学べるポイント



高度な技術と医師としての自覚

専攻医になると、ある程度の経験を積んだ一人の医師として患者さんから見られるため、より的確な判断と処置が必要とされます。任される手技の難易度も上がり、実感として相当の技術が身につくと思います。

MESSAGE

医学生の皆さんへ

医師という職業を選ぶ理由は、昔より多様化したように感じます。安定性や給与面のメリットから医師を目指す人、学力が高いから医学部を選択した人、病に苦しむ患者を一人でも多く救いたいと医師を志す人、どの理由にも正誤はなく、目の前の患者さんに対し最適な医療を提供することが私たち医師の使命なのです。

幸いなことに、当院を研修先として選ぶ研修医は、医師という仕事と真摯に向き合ひ、向上心を持って診療に取り組んでくれる人ばかりです。初期研修から引き続き専攻医として残る割合も多く、4~5年目の医師ともなると、現場で大変頼りになる存在です。若くて元気な研修医が前のめりに学んでくれることで、病院全体が活気にあふれ、医療の質向上につながっていることは間違ひありません。

初期研修の2年間は、医師としての人生を決める重要な期間です。何事も最初が肝心ですから、ぜひ自分の可能性を狭めず、失敗を恐れずに間口を広くしておいてください。また、当院は実践的な研修が多いので、学びに対し受け身にならず、積極的に診療の場に出てきてください。誰もが通る失敗は、研修医のうちに経験しておくことが必要です。後々になってそれらの経験は糧となり、皆さんの飛躍的な成長を支えてくれるはずです。

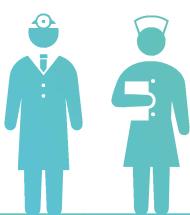
臨床研修管理委員会委員長 星 達也



数字で見る気仙沼市立病院

医師平均年齢

41.1 歳



男女比

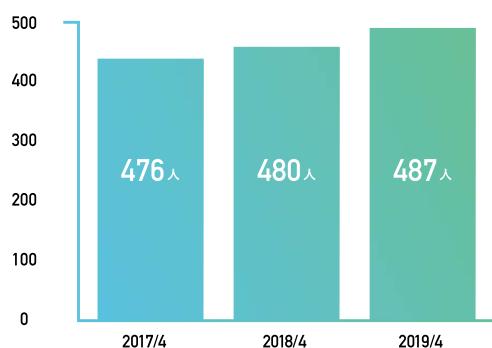


病床数

340 床



職員数・推移



救急車台数

年間 **1,937** 台



一日の平均患者数

入院 **262.2** 人

外来 **996.9** 人



手術件数

年間 **2,744** 件



気仙沼市立病院

〒988-0181

宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8-2

TEL:0226-22-7100(代表)

FAX:0226-22-3121



気仙沼市立病院
公式WEBサイト

<http://www.kesennuma-hospital.jp/>